



# ひがしの子

令和6年10月9日  
岐阜市立岐阜東幼稚園  
園長 広瀬 みゆき

## 親子ふれあいフェスティバル ご参加くださりありがとうございました！

5日（土）は、お天気が心配されていましたが、皆さんの思いが空にも届き、無事に「親子ふれあいフェスティバル（運動会）」が開催されました。

保護者の皆様には、早朝からテント設営や、器具運びなど、ありがとうございました。トラックをお貸しくださり、運転もして下さった保護者様にも、本当にお世話になりました。トラックがなければ、荷物が運べないところでした。また、片付けもたくさんの方々にお手伝いいただき、ありがとうございました。（グラウンドのトンボかけまでお手伝いくださいました。）感謝の気持ちでいっぱいです。

当日は、終了時間が予定より遅くなってしまったこと、申し訳ありませんでした。



さて、親子ふれあいフェスティバル（運動会）、いかがだったでしょうか・・・。

岐阜東幼稚園の親子ふれあいフェスティバル（運動会）は、「練習に練習を重ね、完成させたものを保護者の皆様に披露する」という運動会ではありません。子どもたちの興味関心や実態、運動的な要素等を考え、子どもたちと保護者が運動遊びを楽しむ会となっています。子どもたちと教職員と一緒に創り上げていきます。今、感想をロゴフォームで提出をいただいております。お疲れのところ土曜日にさっそく入力して下さった方もいらっしゃる、本当に感謝しております。また、たくさん温かい感想を書いてくださり、嬉しく思います。土曜日の午後に、職員も反省会を行い、改善するとよいことなども話し合いました。保護者の皆様のご意見も合わせて、良い部分は来年度にも活かし、改善点については、討議しながらよりよいものに改善していこうと思います。11日が感想をお送りいただく締め切りとなっております。まだ入力されていない方は、よろしく願いいたします。（手伝ってくれた学生さんは感動して涙が出そうだったと言ってくれました。子どもたちの姿が、若い学生さんの心も動かすんだなと嬉しく思いました。）



前半のコーナー遊び、保護者の皆様も子どもたちと共にたくさん体を動かして、思い切り運動遊びを楽しんでくださり、ありがとうございました。子どもたちと共に、保護者の皆様の笑顔がたくさん見られたことが本当にうれしかったです。楽しい気持ちを子どもたちと共有して下さりありがとうございました。

後半部分、今年度、年長児の競技については、肋木から飛び降りる部分について改善しました。肋木からではなく、巧技台からジャンプできるようにすることで、安定して踏み切って飛び降りることができるようになりました。高さも初めは低いところからスタートしましたが、“もっとできる！”という気持ちもあり、子どもたちの気持ち、実態、安全面等を考えて、あの高さにしました。高さも2種類から選択できるようにし、子どもたちが自分たちで考えて挑戦していきましました。保育室で跳んだ時より、園庭で跳ぶときのほ

うが解放感はありますが、怖さも増します。お互いの姿を見合い、応援したり、喜びあったりしながら取り組みました。

障害走の初めの部分は自分たちで挑戦するものを決めました。できるようになると、また違うものに挑戦したくなり、前日に挑戦するものが変わった子もいました。一人一人の挑戦する気持ちが、尊いと感じました。

そして、リレーでは大接戦でした。フェスティバル前も、連日、接戦が続いておりました。2チームとも、相手にどうしたら勝てるか作戦を考えたり、バトン渡しの練習をしたりと、気持ちを一つにして取り組んでいました。大人チームも一緒に走ってきましたが、もう子どもたちにとって、大人との対決より、相手チームに勝つことに気持ちが向いていました。大人チームが3位で、自分たちが2位でも嬉しくありません。赤チームに、緑チームに勝てるかどうか・・・そこが重要なようでした。

繰り返す中で、悔しくて涙が出たり、寝そべてすねたり、怒ったり・・・。そんなこともたくさんありました。初めは1つのチームが勝つことが多く「〇〇ばかり勝つ。」「〇〇くんたち、速い子がいっぱいいるからや・・・。」なんて声も聞こえてきました。でも、あきらめず、目標をもって取り組んだからこそ、接戦になりました。

当日、スタート前にもちょっとしたもめごとはありましたが、緑チームも気持ちを整え、そして赤チームは、気持ちを切らさずに待つことができました。他の学年の皆様をお待たせすることになり、申し訳ありませんでした。引き分けで、思わず走り出した子どもたちの顔は、とてもいい顔をしていたと思います。

年少さん、年中さんの中には、いつもと違う環境にちょっとドキドキしたお子さんもいらっしゃいました。でも、いつもと違う状況なので、そういう姿になることもあります。前回の「ひがしの子」にも書きましたが、親子ふれあいフェスティバル当日がすべてではありません。それまでの過程の中で、楽しく取り組んできたこと、そういった日々の延長

線上に親子ふれあいフェスティバル2（運動会）があります。今週も、楽しく体を動かす遊びをしていきたいと思います。

当日の子どもたちのかわいい姿、がんばる姿、楽しそうな姿等を、いつまでも心にとどめておいてくださいね。

